

## 地方独立行政法人山梨県立病院機構 第2回理事会 議事録

1 日 時 令和元年10月3日(木)午後5時00分～午後5時55分

2 場 所 県立中央病院 2階 理事長室

3 出席者 理事長 小俣政男

理 事 神宮寺禎巳、宮田量治、内藤正浩

監 事 加藤隆博、柴山聡

(欠席者 なし)

(出席者 理事長・理事 計4名。今理事会は定足数を満たし成立した。)

### 4 会議次第

(1) 理事長あいさつ

(2) 議 事

(3) 報 告

議 事)

### 規程(案)について

○議 長

初めに、規程(案)について説明願います。

○事務局

—規程(案)について説明—

#### 資料1 寄附金等取扱規程

寄附として受け入れることのできる内容、手続き等について明確化するとともに、ホームページで寄附を呼びかけるため、「寄附金等取扱規程」を制定する。

施行期日は令和元年10月4日からとする。

#### 資料2 使用料及び手数料規程

オンコタイプDX検査の料金設定を行うため、「使用料及び手数料規程」の一部改正を行う。

施行期日は令和元年10月4日からとする。

#### 資料3 中央病院放射線障害予防規程及び特定放射性同位元素防護規程

「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」が令和元年9月1日から施行されたことに鑑み、放射線管理体制の見直し、災害時の措置、特定放射性同位元素のセキュリティー対策等を行うため、「中央病院放射線障害予防規程」の全部改正を行うとともに、「中央病院特定放射性同位元素防護規程」を制定する。

法施行が9月1日からのため、理事長専決により同日からすでに本規程を施行させていることを報告する。

○加藤監事

資料1について、寄附金の使途については、規程上制限しないのか。

○事務局

当機構の定款、中期目標、中期計画に反する内容でなければ受け入れるつもりであり、規程上制限することは考えていない。

○柴山監事

寄附者の属性について、例えば、反社会的勢力からの寄附は受けない等、規程上制限しないのか。

○事務局

規程上制限しないが、決裁過程において確認していく。

**採決の結果、理事等から異議がなく、原案のとおり可決された。**

### 令和2年度予算編成要領（案）

○議長

次に、令和2年度予算編成要領（案）について説明願います。

○事務局

—令和2年度予算編成要領（案）について説明—

資料4により、令和2年度の予算編成に係る基本的事項、収入、支出、経常利益、消費税率の引上げを適切に反映させること等について説明を行った。

**採決の結果、理事等から異議がなく、原案のとおり可決された。**

## 報告)

### 評価委員会による業務実績評価

○議長

次に、業務実績評価について説明願います。

○事務局

—平成30年度業務実績評価についての説明—

資料5により、平成30年度の業務実績評価についての説明を行った。

全体評価としては、「平成30年度の中期計画の実施状況は優れている」と評価された。

項目別評価は、昨年度と比較して「順調である（B）」が1件増、「劣っている（C）」が1件減となった。

—第2期中期目標期間見込み業務実績評価についての説明—

資料6により、第2期中期目標期間見込み業務実績評価についての説明を

行った。

全体評価としては、「第2期中期目標期間見込みにおける業務の実績は優れている」と評価された。

項目別評価は、第1期中期目標期間の評価と比較して「特に優れている(S)」が1件増、「優れている(A)」が2件増、「順調である(B)」が3件減となった。

## 中央病院及び北病院の稼働状況

### ○議長

次に、各病院の稼働状況について説明願います。

### ○神宮寺理事

—中央病院稼働額等の説明—

入院・外来稼働額は、各月とも伸びており、前年同月比較の累計で4億3,389万円増となった。入院収益稼働額、外来収益稼働額はともにほぼ右肩上がりとなっている。

平均在院日数は12.9日であるが、12日を切っていきたいと考えている。

新規入院患者数は、理由ははっきりしないが減少、初診外来患者数及び延べ入院患者数は横ばい、延べ外来患者数については微増となっている。

1日あたりの平均単価は、入院、外来ともに右肩上がりである。

### ○宮田理事

—北病院稼働額等の説明—

入院・外来稼働額は、主にデイケアの受入人数を80人から45人くらいに制限したことにより、前年同月比較の累計で4,090万円減となった。

平均在院日数は60日台で推移しており、精神科病院としては極めて優秀といえる。

新規入院患者数、初診外来患者数は横ばいとなっているが、延べ入院患者数は在院日数が短くなっていることから減少しており、延べ外来患者数はデイケアの受入人数の縮小により減少している。

1日あたりの平均単価は、入院は右肩上がり、外来は横ばいである。

### ○柴山監事

北病院の医療観察の状況はいかがか。

### ○宮田理事

現在3床稼働しており、今月10日に1人入院する予定。また、1月くらいに1人入院予測の患者がいるため、満床となる見込み。

### ○議長

中央病院では、収入が増えているものの、支出も増えている状況。昨年度は

17億円の利益が出たが、今年度は15億円くらいと思っている。

○事務局

消費税引き上げの影響もある。当機構全体の課税対象は約110億円であり、10月からの2%引き上げで、1億円程の負担増が見込まれる。

その他)

○司 会

最後に、次回理事会の日程について、お諮りしたい。  
令和元年12月18日水曜日の17時からということによろしいか。  
以上をもちまして、令和元年度第2回理事会を終了とする。